

オブジェ・パネル・乾漆盛器

a2200424 橋本聡美

デザインコンセプト

大テーマを「輝」として表現した。

オブジェ「静穏」

静かな漆黒の夜の中にちらちらと輝く民家の明かりを螺鈿で表現した。また底を丸くして、まるで民家が山に包まれているかのように表現。呂色磨きによる技法で仕上げた作品。

パネル「命脈」

はかなくも美しい命の輝きをイメージ。花にとまっている蝶が漆黒の闇にのまれそうになっているが最後まで美しく生きるところを表現した。呂色仕上げの上に錆によるレリーフ調で仕上げ、金網胎で蝶を表現。

乾漆盛器「朝日」

一日の始まりの太陽の輝きを表現。人々の希望に満ちた輝きを放つ朝日を描いた。

オブジェ

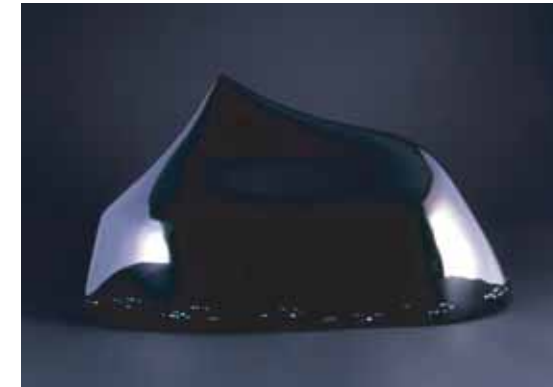
- 1, 布着せ, 目擦り(×2)
- 2, 錆び付け
- 3, 錆び研ぎ
- 4, 底に絞漆付け
- 5, 下塗り
- 6, 中塗り
- 7, 貝を貼る
- 8, 上塗り
- 9, 銅刷り
- 10, 呂色磨き

パネル

- | | |
|--------------|----------------------|
| 1, 木固め | 蝶の羽 |
| 2, 切粉付け | |
| 3, 切粉固め | 1, 金網を大まかな形に切る |
| 4, 錆び付け(×2) | 2, 表に布着せし裏面から |
| 5, 錆び固め | 金網の目を目擦りする |
| 6, 下塗り | 3, 布着せ, 目擦り(合計で表3裏2) |
| 7, 中塗り | 4, 下塗り, 中塗り, 上塗り |
| 8, 上塗り | |
| 9, 錆を塗りつけて表現 | |
| 10, 羽を接着する | |

乾漆盛器

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1, 石膏で型を作る | 盛器の足 |
| 2, 型に錫金貝をはる | |
| 3, 布着せ, 目擦り(×8) | 1, ペニヤで型を作る |
| 4, 型からはずし, 錆び付け | 2, 型に錫金貝をはる |
| 5, 足を接着し, 布着せ | 3, 布着せ, 目擦り(×5) |
| 6, 錆び固め | |
| 7, 下塗り | |
| 8, 中塗り | |
| 9, 上塗り | |
| 10, 加飾 | |



オブジェ「静穏」



乾漆盛器「朝日」



パネル「命脈」

考察

現代はあらゆる場面で機械化が進み手作業などは少なくなった。そんな中で私は漆芸を学び、実際に自分の手で作品を作り上げていくことでものづくりの大変さから素晴らしさを身をもって学ぶことが出来ました。作品制作では、オブジェ・パネル・乾漆盛器を制作しさまざまな技法を使いたい、また新しいことをしてみたいと思いました。オブジェでは螺鈿・呂色を学び、パネルでは呂色の上に錆を直接塗り、レリーフ調にするということに挑戦しました。漆は完成までにたくさんの時間がかかり、温度や湿度にも気を配るなど大変根気のいる作業でした。その分、仕上がった時の達成感はずいものです。私は会津の伝統工芸である漆芸を学ぶことができたことを誇りに思います。